

# 前回委員会での 指摘事項と対応について

---

# 第4回委員会のフォローアップ

## 論点①②について

※資料2-3にて詳述

## 広域ネットワークの利活用の促進について

項目	発言概要	対応箇所
広域ネットワークの利活用の促進について	外国人を含めた「快適」、「安全」、「迷わず」に走れる環境づくりやルール・マナー周知が必要である。	提言の記載方針(案)に反映。
	既存のサイクリングロードの多くが自転車歩行者専用道路となっており、自転車と歩行者のトラブルも多い。どのような通行空間を確保するのか、明確にする必要がある。	参考資料に反映。
	安全性確保やわかりやすさの観点から、路面表示やサイン等の情報の出し方を統一すべきである。	
	諸外国ではブランド化のために標識、路面表示を統一し、差別化を図っている。	
	自転車利用者が安心して駐輪し、食事や休憩ができる施設等も要件とすべきである。	
	広域ネットワークは、観光だけでなく、様々な目的に利用される可能性が高いため、広域的な市区町村間の連携などにより、ネットワークとしての発展性を確保することが重要である。	
	認定要件として、メディアへの露出度等を要件にするとハードルが高くなるため、利用者や住民等により改善に取り組む主体的な組織があること等でも評価するべき。	